



2023年12月16日（土）17日（日）  
第5回飛騨高山学会

## 岐阜県白川村平瀬温泉エリアにおける 魅力配信コンテンツの開発

-ダイバーシティ & インクルージョンの視点から-

同朋大学 社会福祉学部  
准教授 牛田 篤



# 1. はじめに

## ○日本の高齢化率

日本の高齢化率について、内閣府令和5年度版高齢社会白書において、日本の総人口が、2022年10月1日現在、1億2,550万人と報告されている。

65歳以上人口は、3,624万人となり、総人口に占める割合（**高齢化率**）も**29.0%**となった。

65歳以上人口を男女別に見ると、男性は1,573万人、女性は2,051万人である。



出典 白川村公式ホームページ  
 平瀬温泉エリア  
 大白川の湯 平瀬温泉郷

## ○白川村の高齢化率

岐阜県では、白川村の高齢化率について、白川村役場のデータから、2023年10月1日現在、高齢化率は**33.67%**と報告されている。

人口を男女別に見ると男性733名、女性758名、合計1,491名である。

白川村は、1995年、富山県の五箇山と共に白川郷・五箇山の合掌造り集落として、ユネスコの世界遺産（文化遺産）に登録されている。

本研究の調査は、○エリアとする。

# ○本研究の着想：白川村大字平瀬地区の調査

本研究では、白川村の公式ホームページ及び介護サービス情報公表システムより、**観光・地域共生・高齢者との多世代文化交流の観点**から、岐阜県大野郡白川村大字平瀬地区に焦点を当てる。



出典 白川村公式ホームページ  
平瀬温泉エリア  
大白川の湯 平瀬温泉郷

## 2. 目的

本研究の目的は、白川村瀬温泉エリアの魅力配信コンテンツを開発し、観光・地域共生・高齢者との多世代文化交流に寄与することを目指す。



旧遠山家 2階展示エリア<sup>5</sup>

# 3. 方法

## 3.1 調査期間

2023年8月31日～2023年10月19日

## 3.2 調査内容

本調査の内容は、以下の通りである。

- ①福祉を学ぶ大学生が聴き手となり、ダイバーシティ（多様性）とインクルージョン（社会的包摂）の視点から現地取材と見学、インタビューを実施し、その魅力を写真や動画でまとめる。
- ②白川村役場での活用を視野に、若者、外国人等の観光客、地域の住民、多様な人々が魅力を感じるコンテンツを作成し、地域の活性化を目指す。

### 3.3 調査手順

本調査を進める際、はじめに白川村役場の村民課、白川村社会福祉協議会、高齢者福祉施設 瀬音さくら山荘に対して、研究の目的及び調査内容を説明する。

先行研究として着手している「白川郷における地域共生社会の実現に向けた他職種連携教育プログラムの開発」にて、学内倫理審査の承認を得ているため、同様のプロセスにて倫理的配慮に遵守し、可能な範囲での協力を調整した。

# 研究倫理

## 3.4 倫理的配慮

本研究は、倫理的配慮に遵守し、事前説明と同意を得てから調査や撮影等を開始した。加えて、本研究の協力は、途中で中止が可能であり、本調査、インタビュー、撮影、写真等の内容が使用不可とすることも可能である。

本研究は、協力の可否によって、本人に不利益が生じないように研究を進める。

学内倫理審査：承認番号2023-01-02



## 4. 結果

本調査では、6か所の現地取材、見学や体験、5名のインタビューを実施し、その魅力を写真や動画等を用いて収集することができた。

6か所は、①高齢者福祉施設 瀬音さくら山荘、②旧遠山家民俗館、③道の駅 飛騨白山、④さくら街道白川郷ひらせ温泉キャンプサイト、⑤大白川の湯 平瀬温泉郷、⑥平瀬八幡神社のどぶろく祭を撮影できた。

5名のインタビューは、白川村社会福祉協議会の管理職、瀬音さくら山荘の利用者や管理職、旧遠山家民俗館の職員、平瀬八幡神社のどぶろく祭の氏子総代から協力を得ることができた。

前述の取り組みから、どぶろく、すったて汁、白菜の切り漬けといった食や伝統文化の伝承、温泉や水、自然の豊かさを感じる体験、地域での交流の大切さについて重要であることが抽出された。



図1 平瀬地区どぶろく祭りの獅子舞



図2 平瀬地区どぶろく祭り太鼓や笛



図3 平瀬地区どぶろく祭りの様子



図4 しらみずの湯 道の駅 足湯



図5 すったて汁とみらたらし 道の駅



図6 瀬音さくら山荘 白菜の切り漬けの様子



図7 旧遠山家民俗館の外観



## 5. 考察

本結果から、図1から図7といった内容を撮影し、5名のインタビューを通して、平瀬地区の魅力を大学生のみではなく、多様な人が同じように感じるることができるのではないかと考える。

同時にインタビューに協力していただけた人との間に相互に魅力を感じ合う機会になったと考える。

多様な人々が魅力を感じるコンテンツ作成、地域の活性化を目指す際、若者や多様な人々が地域住民や高齢者から学び、実際に見学、体験することが重要である。

→地域を活かした社会的な役割の再発見

今後何を発信していくかは、春夏秋冬、白川村の生活、食や伝統文化を地域住民と共に触れ合い、対話や語り合い、その魅力を考え工夫する機会が必要である。

→四季と五感を活かした交流による再発見

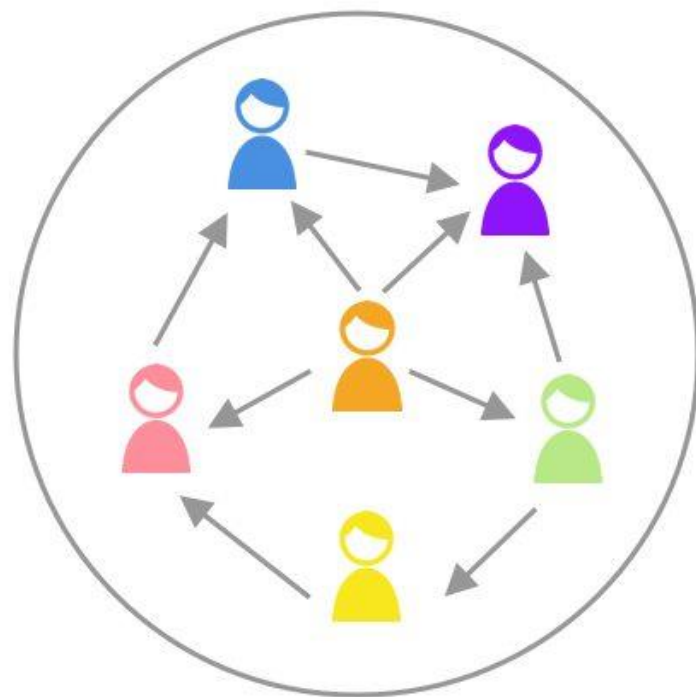
## <ダイバーシティ & インクルージョンの視点>

多様性の尊重と多様性の受容といった視点から高年齢者施設や旧遠山家民俗館等での伝統文化の伝承、地域文化の体験、多世代交流、双方向のコミュニケーションから知り合うことが重要であるといえよう。



ダイバーシティ

多様な人材が集まっている状態



インクルージョン

多様な人材が集まり、相互に機能している状態

出典 Works No.128 FEB ---- MAR 2015

『米国の”今”に学ぶ「インクルージョン」の本質』 (2015)



# 白川村平瀬地区での調査から得た体験 四季を感じる自然、食文化、湧き水

# 岐阜県白川村平瀬温泉エリアに おける魅力配信コンテンツの開発

＜白川村平瀬エリアの人たちの調整＞  
結（Yui）という読み方、その意味が伝  
わるように、Instagram等の検討を開始

# 今後の課題

今後の課題は、前述のきっかけ作りとして、Instagram等 SNS を活用し、留学生や平瀬地区の介護分野の担い手を視野に、分かりやすい情報と魅力発信を工夫することである。

郷土料理は、作る、知る、  
食べる、撮る、感じる、  
地域の魅力



白川村平瀬地区の郷土料理



平瀬地区どぶろく祭り 御神酒 どぶろく



# 参考文献

1. 「令和5年度版高齢社会白書」 (全体版)  
(PDF版) 内閣府

[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2023/zenbun/05pdf\\_index.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2023/zenbun/05pdf_index.html) (2023.10.20)

2. 「第2次白川村地域福祉計画」 岐阜県白川村

<https://www.vill.shirakawa.lg.jp/secure/1131/fukushikeikaku2.pdf> (2023.10.20)

ご清聴ありがとうございました。

